

身体におこる病気の自覚症状や徴候（症候）

「頻尿：トイレが近い」

内科学（脳神経内科） 綾部 光芳

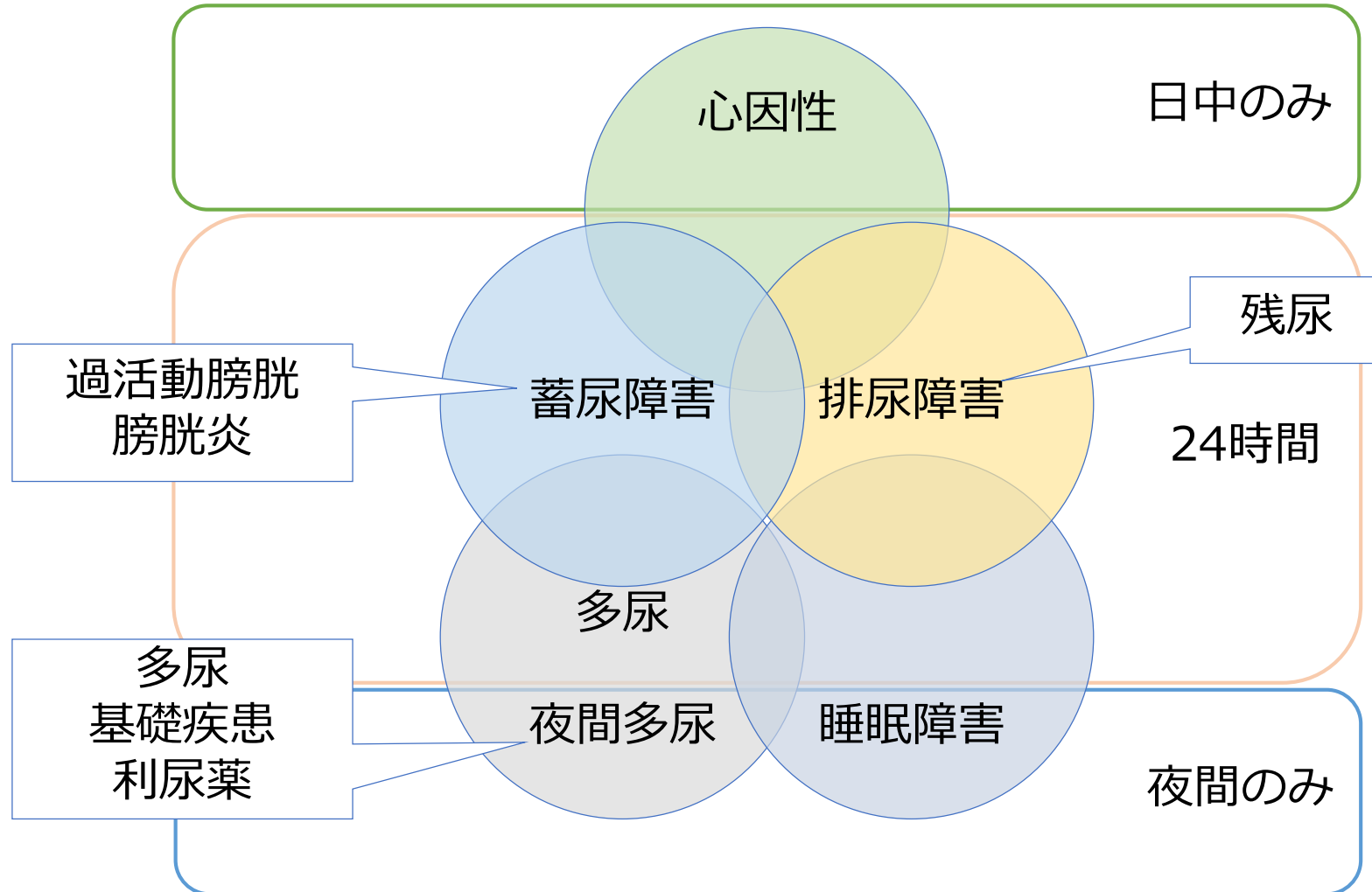
一般推薦入試合格者の集い 「模擬授業」

（令和元年12月21日、土曜日）

久留米大学医学部看護学科A棟 2階 講義室2

頻尿の種類と原因

頻尿は、日中のみ（覚醒時8回/日以上）、24時間（覚醒時8回/日以上 + 就寝後2回以上）、夜間（就寝後2回以上）かによって原因が異なる。



尿失禁：膀胱に貯留した尿が意図に反して漏出する状態である

腹圧性尿失禁：

腹部に力を入れると漏れる状態である。主に尿道括約筋の障害で生じる。

経産婦

混合性尿失禁：

両方を認める

切迫性尿失禁：

尿意切迫感とともに、耐えきれず漏れてしまう状態である。

過活動膀胱

溢流性尿失禁：

膀胱内の尿が一定量に達して、尿道括約筋の限界を超えて溢れ出る。

前立腺肥大症、脳梗塞後遺症

その他の尿失禁

- ・反射性尿失禁
(脊髄損傷)
- ・真性尿失禁
(先天奇形)
- ・遺尿
(夜尿症)

機能性尿失禁：

トイレまでの移動に時間がかかる、トイレの場所がわからない時に生じる。

運動障害、認知症

過活動膀胱 OAB (overactive bladder)

- 膀胱内に尿がそれほど溜まっていないのに排尿筋が収縮して、急に尿意を催し頻尿を招く（尿意切迫感 + 頻尿・切迫性尿失禁）。
- 原因はよく分かっていない。加齢や精神的ストレスのほか、溜まった尿の量を感じする膀胱センサーが過敏になっている可能性、脳の中にある排尿を司る部分や自律神経の乱れなどが関連する。

- 特発性過活動膀胱(80%)：骨盤内虚血などにより膀胱粘膜の機能が障害され、尿意切迫感が生じる。
- 神経因性過活動膀胱(20%)：神経因性膀胱のうち、軽症で排尿（尿排出）障害は伴わない。

問 診		現在の症状や既往歴の聴取（問診票） ・ 過活動膀胱症状スコア (OABSS)
主な検査方法と目的	検 尿	尿に血液や細菌が含まれていないか（病気の有無）
	超音波検査	残尿量の測定。腎臓・前立腺の状態を確認
	尿流動態検査	測定装置のついたトイレで排尿して、排出される尿の量や勢いをグラフにし、排尿障害の有無や程度を調べる
	パッドテスト	一定時間パッドを当てた状態で過ごして、もれた尿の量をはかり、尿もれの程度を調べる